

常東の子どもたち

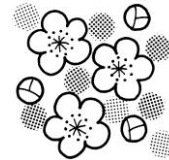
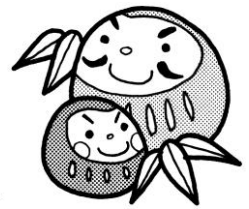
平成24年1月10日
足立区立千寿常東小学校
校長 山田 誠

生活指導だより 11号

平成24年（2012年）がスタートしました。

今年も、常東小の子供たちが楽しく充実した学校生活を元気に送れるように、私達教職員も力いっぱい努力してまいります。

学校の取り組みだけでは子供たちの生活力は向上していきません。ご家庭のご支援とご協力が必要です。今後ともよろしくお願い致します。



さて、新しい年のスタートにあたっての生活目標は、

『礼儀正しい生活をしましょう』です。

「礼儀正しい」というと、やはり基本は「あいさつ」です。

朝、「おはようございます」と元気よくあいさつをすると、いい気分を一日でスタートすることができます。あいさつをすることによって、人とのかかわりもうまれます。「おはよう」はたった4文字の簡単な言葉ですが、次の3つの意味が込められているそうです。

1. 相手との良好な関係を願う（今日も一日よろしく願います）
2. 相手の存在を認める（あなたは私にとって大切な人ですよ）
3. 相手の幸せを祈る（今日も一日、お元気でいてください）



他にも「こんにちは」「さようなら」「失礼します」「ありがとうございます」「ごめんなさい」など、人とのかかわりの中で交わす言葉はたくさんあります。学校内だけでなく、地域でも自然と言葉が出てくるようになれば、もっと気持ちのよい生活を送ることができます。

「親しき仲にも礼儀あり」という言葉があるように、ご家庭でも心のこもったあいさつを一つの習慣としていただければと思います。

あ：明るく い：いつでも さ：先に（人より先に） つ：つづけていこう

ポケットに手を入れたまま歩くのは危険！！

1月になり、これからも寒い日がしばらく続きます。子供たちの登下校を見ると、手が冷たいのか、両手をポケットに入れたまま歩いている姿をよく見かけます。手を入れたまま歩いていると、つまずいてしまった時や転んでしまった時ととさに手を地面につくことができます。そのため、そのまま顔面から地面にぶつかって大けがにつながることもあります。

思わぬけがを防ぐためにも、寒い時は手袋をするなどして両手がすぐ出せる状態で歩くようにしましょう。

体温調節ができる服装で

冬の寒さの中でも、Tシャツに半ズボンで元気に登校してくる子供がいます。そうかと思うと、長ズボン、厚手のトレーナーにコートを着込みマフラーまで巻いて登校という子供もいます。

寒さ・暑さに対する感覚は個人差があるので、「厚着がよくない」と決めつけることはできません。しかし、暖房のきいている暖かい教室の中でも寒いと言ってコートを脱ぎたがらない子供がいることもあります。一枚多く着て、厚くなったら脱ぐなど、体温調節ができる服装で心がけましょう。